

冬休みの学習について



学習指導部

もうすぐ冬休みですが、学校生活では後期が始まって約2ヶ月が過ぎました。後期の中間テストの結果をみて、どんなことを感じましたか。前回のテストよりも向上した人、逆にダウンした人、あまり変わらなかった人、人それぞれに結果は違うと思いますが、その原因は一体なんでしょうか。ここで考えてもらいたいことがあります。

これまでの学習の振り返りをしましょう

各教科のノートやプリントを見直し、「自分ができるようになったこと」や「まだまだ定着していないこと」、「すっかり忘れていたこと」を振り返ってみましょう。4月から今日までで成長したことはたくさんあります。それらをしっかりと振り返ることで、頑張ってきた自分に自信を持てます。そして「冬休み明けの授業ではこんなことを意識して授業に取り組もう」と目標をもって授業に臨む気持ちを作りましょう。

宿題忘れや教科書、ノートなどの忘れもの

そこで、やる気を出すためにはどうしたらよいか。これまでの学習態度を振り返ってみましょう。当然勉強する『道具』がなければ、勉強をすることはできません。忘れ物をする人は非常に少ないです。しかしながら、忘れ物をすれば、その時間は何もできずに無駄に過ぎてしまいます。それを、取り返すためにほかの時間に勉強をしなければいけません。しかし、なかなかそれをやることは難しいことは君たちが一番わかっているはずです。だからこそ、授業での忘れ物は絶対にしてはいけません。そのために、家庭でまずやることは勉強よりも先に、明日の準備をきちんとやることです。

授業への参加意欲や授業中の態度

次に、道具があっても授業の態度が悪ければ、向上への道はありません。何のために勉強するかは、親や先生などの大人から何度も話をされていると思います。簡単に言えば、将来の自分のためです。3年生でも、「自分がどんな人生を歩むか」まだほとんどの人が決まっていけないことでしょう。実際のところ、ほとんどの人が高校に進学してから決めようと思っています。だからこそ、自分の進路の選択の幅を広くするために、今自分ができる勉強をしっかりとやっていく必要があるのです。

また、生活が不規則だと、やる気など絶対にでません。就寝時間、起床時間、家庭学習の時間、毎日規則的に生活をしているでしょうか。

冬休みには、こんなことを・・・

冬休みは年末と正月で何気なく過ごすとすぐに終わってしまいます。自分の目標、課題をしっかりと考え、それに向けて取り組まないと無駄に終わることでしょう。だからといって、欲張りすぎても終わらずにがっかりすることでしょう。とにかく取り組んでほしいことは、自分の不得意教科や不得意な単元を復習することです。

学習方法としては、教科書が基本です。ただ読むだけでは力にはなりません。必ず、ノートや単語帳などに書き写すことが大切です。また、例えば数学の場合、例題をノートに解くだけでも少しは違うと思います。とにかく、この休みに学習する習慣をつけるようにしましょう。